

日本農芸化学会 関東支部 2023年度若手発案企画

第21回 微生物研究会「微生物の進化, その産業応用」

(世話人: 関 貴洋、梅野 太輔、木村 友紀)

令和5年10月21日

日本農芸化学会関東支部、2023年度の若手発案企画として第21回微生物研究会を早稲田大学西早稲田キャンパスにて開催しました。微生物研究会は関東近郊の微生物研究者による研究交流の場として毎年実施されてきました。本研究会は最先端の研究に触れられるだけでなく、学生の日頃の研究成果を発表する機会として関連分野の発展に貢献してきました。

今年度の参加者は延べ205名、そのうち学生の参加者が157名となり大盛況のもと行われました。シンポジウムでは「微生物の進化, その産業応用」というテーマで5人の研究者にご講演いただき、最先端の微生物研究や、その産業利用の未来像について活発な議論が交わされました。また、60演題のポスター発表も非常にハイレベルな発表が多く、活発な議論が繰り広げられ、大変盛り上がりました。今年度は、ポスター賞を設け、参加者からの投票によって優秀ポスター賞として以下3演題が選出されました。

東京工業大学 生命理工学院

石原 静流 さん

「水素細菌 *Ralstonia eutropha* における2-ヒドロキシブタン酸代謝の解析とポリヒドロキシアルカン酸生合成への応用」

東京大学大学院 農学生命科学研究科

長岡 誠 さん

「*Corynebacterium glutamicum* のグルタミン酸生産に関連するクエン酸生合成酵素集合体の機能解析」

千葉大学大学院 園芸学研究院

斎藤 遥 さん

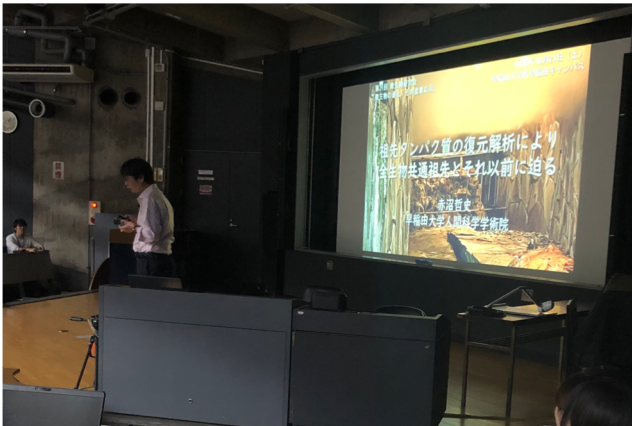
「単細胞紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* におけるヘムとbZIP型転写因子を介した葉緑体から核への光情報伝達」

改まして、優秀ポスター賞の受賞おめでとうございます。

(裏面につづく)

JSBBA KANTO

赤沼 哲史 先生(早稲田大学)のご講演



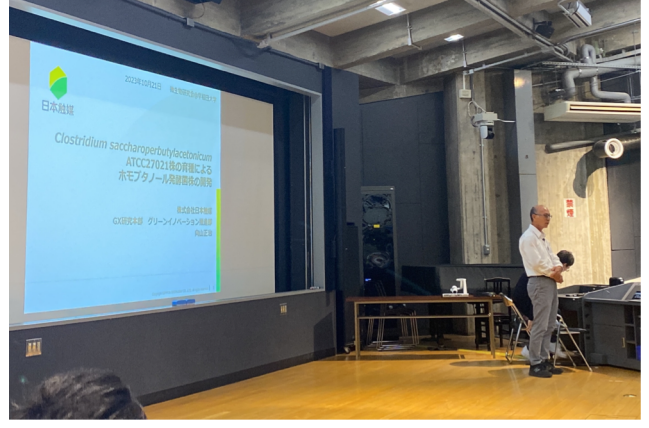
宮崎 健太郎 先生(大阪大学)のご講演



古賀 隆一 先生(産総研)のご講演



向山 正治 先生(日本触媒)のご講演



田岡 直明 先生(カネカ)のご講演



真剣に聞き入る聴衆の皆さま



初めて参加された研究者や学生の方々から、非常に良い刺激をもらいましたとのお声を多くいただくことができました。微生物学研究を活発化させる機会として本研究会を開催できた意義は大きかったのではないかと思います。ご講演者の皆様、参加者の皆様ならびに早稲田大学の学生の皆様のご協力のもと無事開催できたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

次回は、東京農業大学において、筑波大学と東京農業大学の共催として実施される予定です。

本会は、日本農芸化学会関東支部、応用微生物・分子細胞生物学研究奨励会、並びに早稲田大学理工学術院総合研究所の支援のもとで行われました。手厚いサポートをしていただきこの場を借りて深く感謝申し上げます。